

2014-15年度東日本大震災支援活動報告書

所属クラブ	半田南ロータリークラブ	
支援活動形態	クラブ対応	・ <u>個人対応</u>
支援期間	平成 26 年 9 月 17 日～平成 26 年 9 月 18 日	
支援総金額	金	838,940 円
補助金の使用	無	
支援場所	陸前高田市の仮設住宅に住む高齢者40名	
支援場所の選定理由	仮設住宅に住む高齢者の話し相手になり、温泉につかり、旅館に泊まり、おいしい料理を食べ、楽しいひと時を過ごしてもらうため。	
支援活動内容	<p>ほほえみの会主催で、仮設住宅に住む高齢者を花巻温泉に招待し、話し相手になったり、温泉につかり、旅館に泊まり、おいしい料理を食べ、疲れをいやし、楽しいひと時を過ごしてもらう。</p> <p>平成27年1月5日～半田市雁宿ホールにて東北支援写真展開催。</p> <p>平成27年2月9日～半田市役所にて東北支援写真展開催。</p>	
支援活動においての問題点	費用がかさむので、バザーやチャリティーを多く開催する必要がある。	
今後の活動予定	平成27年度も7月に東北支援を検討中	
地区RCにはどのような支援を望まれています	個人的な事業にとどまっていますが、この活動を多くのロータリアンに知っていただくことを望みます。(広報支援)	



所属クラブ	半田南ロータリークラブ	
支援活動形態	クラブ対応	・ <u>個人対応</u>
支援期間	平成 26 年 7 月 28 日～平成 26 年 7 月 31 日	
支援総金額	金	1,374,952 円
補助金の使用	無	
支援場所	陸前高田に住む被災小学生4～6年生15名	
支援場所の選定理由	陸前高田に住む被災小学生に楽しい夏休みを過ごしてもらうため	
支援活動内容	<p>”第2回愛知の夏休み知多半島”と題し ほほえみの会主催で、7/28～7/31の三泊四日、陸前高田の被災小学生(4年生～6年生)15名を知多半島に招待し、風光明媚な南知多町師崎荘に宿泊し、ナガシマスパーランドで遊んだり、観光を楽しんだり、ボーリングなどスポーツをしたり、夜は花火大会を開催して、楽しい夏休みを過ごしてもらう。今年で2回目。</p> <p>平成27年1月5日～半田市雁宿ホールにて東北支援写真展開催。</p> <p>平成27年2月9日～半田市役所にて東北支援写真展開催。</p>	
	支援場所が東北ではなく、愛知県に招待するので交通費(航空券)がかかる。	

支援活動においての問題点	費用がかさむので、バザーやチャリティーを多く開催する必要がある。 打ち合わせに陸前高田市の教育委員会に出向き、親子で説明会に参加してもらう必要がある。
今後の活動予定	平成27年度は7月に東北支援検討中。 平成27年度 ほほえみの会 活動計画(案)添付
地区RCにはどのような支援を望まれています	個人的な事業にとどまっていますが、この活動を多くのロータリアンに知っていただくことを望みます。(広報支援)



所属クラブ	春日井ロータリークラブ
支援活動形態	クラブ対応 ・ 個人対応
支援期間	2014年7月1日～2015年6月30日
支援総金額	金 100,000 円
補助金の使用	無
支援場所	福島県8市町村の子供
支援場所の選定理由	震災発生後、春日井市内の密蔵院のお寺に春休み冬休みに福島県8市町村の各県にばらばらになった子供達を呼んで遊ばせたり勉強をさせたりする支援をしている。

所属クラブ	尾張旭ロータリークラブ
支援活動形態	宮城県 松島 RC クラブ対応 ・ 個人対応
支援期間	平成26年10月7日～平成26年10月8日
支援総金額	金 303,711 円
補助金の使用	無
支援場所	宮城県松島町松島第二幼稚園 福島県富岡町立小学校幼稚園(所在地 福島県三春町の仮設校舎)
支援場所の選定理由	松島第二幼稚園は松島RCの紹介 富岡町立小学校幼稚園は福島県三春町役場に尾張旭市職員が出向しているため
支援活動内容	宮城県松島RCの例会に出席。松島町立松島第二幼稚園を訪問、および福島県三春町にある、福島県富岡町立小学校、幼稚園の仮設校舎(民間会社の工場、事務所跡地を改造)を訪問し、それぞれ「健康タオル」(尾張旭市が健康都市宣言を推奨)を贈呈した。
今後の活動予定	支援事業の継承(次年度地区補助金申請済) 平成27年11月10日～12日にかけて訪問 ・松島RC ・三春町役場、他

- ・松島町立第二幼稚園
- ・三春町RC


- ・富岡町立小学校幼稚園




所属クラブ	名古屋西ロータリークラブ
支援活動形態	クラブ対応 ・ 個人対応
支援期間	平成26年12月4日～平成27年6月11日
支援総金額	金 850,000 円
補助金の使用	無
支援場所	東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや(名古屋市社会福祉協議会)
支援場所の選定理由	名古屋市在住の被災者の現状を継続して把握していきたい為。
支援活動内容	東日本大震災被災者ボランティアセンターなごやを通じて東日本大震災により名古屋に避難している170世帯にジェフグルメカードを贈呈した。 ジェフグルメカードは、全国の各種外食チェーンで使用できる為、東北に里帰りされた際等に、家族や親族で一緒にお食事をして頂く機会になればとの思いを込め選定した。 この支援は今年で4年目となるが、東日本大震災被災者ボランティアセンターなごやとしても、ジェフグルメカードの送付を通じて各世帯との連絡を密にすることができている旨報告している。
今後の活動予定	東日本大震災被災者ボランティアセンターなごや、被災者の皆様にも好評の為、今後も継続していきたい。
地区RCにはどのような支援を望まれています	継続予定の事業に対しての負担金は次年度の予算を組む前にご連絡頂ければ幸甚です。



所属クラブ	名古屋大須ロータリークラブ
支援活動形態	クラブ対応 ・ 個人対応

支援期間	平成 26 年 6 月 7 日～平成 年 月 日 (継続中)
支援総金額	金 3,119,058 円
補助金の使用	(無)
支援場所	あしなが育英会
支援場所の選定理由	震災被害を受けた生徒、児童に直接支援をしようとの目的であしなが育英会に託すことにしました。
支援活動内容	<p>2760地区内のロータリークラブで活動している合唱団で、名古屋地区ロータリークラブ合唱団連合会を設立し、名古屋でチャリティコンサートを開催して収益を全て義援金として寄付している。</p> <p>第1回平成23年6月4日(土)於 名古屋市名東文化小劇場 <553,520円を寄付> 第2回平成24年5月24日(木)中京大学文化市民会館プルニエホール <836,630円を寄付> 第3回平成25年5月9日(木)日本特殊陶業市民会館ビレッジホール <715,460円を寄付> 第4回平成26年6月7日(土)愛知県芸術劇場コンサートホール <1,013,448円を寄付></p> <p>以後、毎年継続した支援を予定している。現在賛同合唱団は7団体です。 1.コールロータリー名古屋(2760地区15クラブ) 2.名古屋名南ロータリークラブ混声合唱団(名古屋名南) 3.メール・アカンターレ(名古屋東南) 4.コール・カメリア(名古屋名駅) 5.コール・スイーツ(あま) 6.KIRARA(西尾KIRARA)</p>
支援活動においての問題点	各クラブ、各合唱団の連絡、時間、日程の調整など
今後の活動予定	平成27年4月23日(木)日本特殊陶業市民会館ビレッジホール チャリティコンサート2015 開催予定
地区RCにはどのような支援を望まれていますか？	チャリティ券を各合唱団、ロータリークラブで協力をおねがいしています。全額を寄付していますので、ホールの使用料などの経費の支援がお願いできればありがたいと思います。 また、2760地区全クラブにこのチャリティコンサートの案内をして頂けることを望みます。勿論、各クラブでこのチャリティコンサートに協力する形で参加して頂ければ助かります。
	

所属クラブ	名古屋栄ロータリークラブ
支援活動形態	クラブ対応 ・ ● 個人対応
支援期間	平成26年10月7日～平成26年11月7日
補助金の使用	無
支援場所	宮城県石巻市および福島県いわき市の被災地区の小学校
支援場所の選定理由	学校が被災し理科の実験・観察が不可能なため
支援活動内容	<p>事業所（株）ヤガミ が継続的に行なっている復興支援事業として理科の実験・観察が出来ない小学校へ出向いて、被災地区の児童たちへ理科の授業を23コマ、行なっている。</p> <p>今年は4回目として</p> <ol style="list-style-type: none"> 10月7日 宮城県石巻市立和淵小学校 3年生「風やゴムの働き」 16名 〃 〃 〃 4年生「空気と水の性質」 22名 〃 〃 〃 5年生「流水の働き」 24名 〃 〃 〃 6年生「土地の作りと変化」 22名 〃 〃 中津山代小学校 6年生「土地の作りと変化」 20名 10月8日 〃 向陽小学校 5年生「流水の働き」 3回合計87名 〃 〃 〃 6年生「土地の作りと変化」 3回合計99名 10月9日 〃 雄勝小学校 3年生「ものと重さ」 3名 〃 〃 〃 4年生「金属、水、空気と温度」4名 〃 〃 〃 5年生「流水の働き」 3名 〃 〃 〃 6年生「土地の作り方と変化」 11名 11月6日 福島県いわき市立中央南小学校 3年生「風やゴムで動かそう」2回合計41名 〃 〃 〃 4年生「物の体積と温度」 2回合計49名 11月7日 〃 〃 5年生「流れる水の働き」 2回合計43名 〃 〃 〃 6年生「大地の作りと働き」 2回合計55名 <p>以上の復興教育支援事業派遣を社員延べ6名で行なった。</p>
支援活動においての問題点	派遣受け入れの申請が多い。
今後の活動予定	今年の秋に 第5回の派遣を予定。しかし、今年で一区切りとしたい
	

所属クラブ	名古屋北ロータリークラブ
支援活動形態	クラブ対応 ・ 個人対応
支援期間	平成27年4月23日～平成 年 月 日
支援総金額	金 500,000 円
補助金の使用	無

支援場所	☐希望の風奨学金
支援場所の選定理由	☐希望の風奨学金の資金が不足しているため
支援活動内容	2015年4月23日(木)、中京ゴルフ倶楽部石野コースにて、名古屋北ロータリークラブ・名古屋アイリスロータリークラブ合同でチャリティゴルフ大会を開催した。 当日集まった500,000円を「希望の風奨学金」に義捐金として送金した。



所属クラブ	名古屋錦ロータリークラブ	
支援活動形態	個人対応(東海岩手県人会会長としての活動)とクラブ対応の相乗り	
支援期間	平成26年11月1日～平成26年11月3日	
支援総金額	金	売上約40万 円(収益金額はわかりません)
補助金の使用	無	
支援場所	「ワールドフード+ふれ愛フェスタ」における(株)みちのく屋の東北地方の食料品販売に対する東海岩手県人会の販売ボランティアと名古屋錦RCによる購入協力	
支援場所の選定理由	(株)みちのく屋は東北地方の食料品販売する小売業者で、代表取締役社長の若林隆行君は東海岩手県人会会員。その縁でこれまでもみちのく屋に対して東海岩手県人会が商品の購入や販売のボランティア等で協力している。平成25年のフェスタにみちのく屋が出店しているのをたまたま発見。販売員が1人しかおらず、フェスタの意義を全く理解していないことが気になり、もし次回も出店するならば東海岩手県人会としても協力するから、と約束。平成26年のフェスタへの出展が決まった段階で、私をはじめ東海岩手県人有志が販売をサポートすることに決定した。東北の企業の応援に目を向けて、みちのく屋に出店させてくださったことに感謝の心をあらわしたいと、東海岩手県人会が協賛広告を打った。そして、この一連の流れを知った名古屋錦ロータリークラブが商品購入に協力してくれることになった。フェスタ当日に例会日を変更して例会後会場に移動し、大量に商品を購入。このおかげもあって通常の約2倍の40万円を売上げ、その収益は被災程度に応じた支援に活用される。	
支援活動内容	①	ワールドフード+ふれ愛フェスタにおける東北地方の食品の販売
	②	名古屋錦RC会員による商品の大量購入
	③	県人会会員に向けて販売ボランティアを書面で募集し、延べ16名が販売に参加した。
支援活動においての問題点	①	前回はみちのく屋社員と東海岩手県人会会員有志のボランティアが協力して販売にあたった。東海岩手県人会の会員については、私からロータリークラブ及びフェスタについて事前に説明をしておいたが、みちのく屋の社員にはほとんど知識がなく、両者の温度差が気になった。次回は担当者同士の間に温度差が生じないように、広報を徹底したい。
今後の活動予定	①	平成28年のワールドフード+ふれ愛フェスタの開催が既に決定し、次回は分区分ごとにブースを出展することになった。PETSにおいて、東名古屋分区のブースとして、前回の形式を踏襲する形でのブース出展を行う旨、決定済み。みちのく屋と東海岩手県人会、東名古屋分区の12クラブが協力してのブース展開になる見込みである。5月から打ち合わせを開始する。
	②	東海岩手県人会の会報で、フェスタを広報し、販売ボランティアを募集するとともに、フェスタへの参加を募る。
地区RCにはどのような支援を	①	商品購入にご協力をお願いします。

望まれています

②

フェスタ開催並びに分区ごとのブース出展につき、広く広報をお願いします。



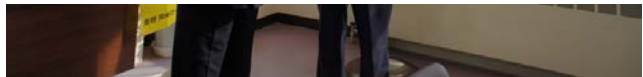
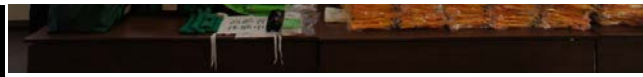
所属クラブ	豊橋東RC
支援活動形態	クラブ(対)応 ・ 個人対応
支援期間	平成 26年 8月 21日～平成 26年 8月 24日
支援総金額	金 3,000,000 円
補助金の使用	(有) ・RC地区補助金 補助金額 11,005ドル
支援場所	宮城県気仙沼市大島
支援場所の選定理由	東日本大震災で甚大な被害を受けた地域なので選定しました。
支援活動内容	東三河の高校生と共に120名バスにて13時間かけて豊橋から気仙沼市に伺いました。到着してすぐに、海岸清掃を行いました。そして、大島にフェリーをチャーターして渡り到着した後に広場にて、豊橋の伝統文化の象徴である手筒花火の披露を行いました。また、披露と共に気仙沼市大島の伝統文化である美和太鼓との共演も行い文化交流をする事ができました。翌日には仮設住宅やデイケアセンターに伺い、被災者訪問を行いました。訪問をする事によって被災者の皆様に笑顔を届けると共に参加高校生にボランティア活動の意義を感じ取ってもらう事が出来ました。昼にはキャンプ場にて大島の方たち(高校生の父母相当の年齢の方)とカレーの共同調理を行いました。大島の御供物として召し上がっている「ほうろぎはっと」を教えて頂き地元の味を堪能する事が出来ました。昼食後は震災の現実の怖さを被災者の方たちに話をして頂きこれからの防災対策や防災意識の高揚を図る事が出来ました。最後に復興商店街で買い物をして被災地での復興支援活
支援活動においての問題点	高校生120名という大人数であったので海岸清掃などの広範囲にわたる作業等においてはその規模を生かしたが、仮設住宅等の小規模な場所では個々の想いを完全に発揮できなかった部分もあるように感じた。
今後の活動予定	事業終了後、日を改めて参加高校生による反省会を行った。そこでボランティア活動を通じて繋がった意識の連携を補助する体制作りを行って行きたい。
地区RCにはどのような支援を望まれていますか？	被災地に向けては継続的は支援を行って頂きたいと思います。また、地区内のRCに対しては同地区のクラブがどのような活動を行っているか？被災者支援にはどのような活動が効果的か？東日本大震災に対する支援活動のまとめを作成して頂きたいと思います。





所属クラブ	岡崎ロータリークラブ
支援活動形態	クラブ対応
支援期間	平成 27 年 2 月 21日～平成 27年 2 月 22日
支援総金額	金 999,950円 (気仙沼医師会) 30,860円 (岡崎市立北中学校)
補助金の使用	無
支援場所	宮城県気仙沼市医師会 岡崎市立北中学校の石巻中学校支援補助
支援場所の選定理由	クラブ会長と支援プロジェクトリーダーを先頭に委員会を発足しました。 過去3年は教育委員会を通じての支援を実施してきました。 今年度は岡崎RC独自で支援先を検討し決定しました。また支援内容も十分検討して選定いたしました。 岡崎北中学校については継続事業です。
支援活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 気仙沼医師会 のぼり旗(診療中) 49組 高齢者体験セット 2箱 目で見える新生児看護全4巻 目で見える国際看護全3巻 災害時医療救護ベスト「医師」用 35着 災害時医療救護ベスト「看護師」用 35着 岡崎市立北中学校 石巻中学校とのコミュニケーションツールとしてWEBカメラSkype対応マイク付
今後の活動予定	次年度も引き続き東日本大震災復興支援を続けていく予定です。 支援先については検討する。





所属クラブ	岡崎南ロータリークラブ
支援活動形態	クラブ対応 ・ 個人対応
支援期間	平成26年8月4日～平成26年8月7日
支援総金額	金 497,190 円
補助金の使用	(有) RC地区補助金 補助金額 金 246,650 円
支援場所	福島県いわき市
支援場所の選定理由	福島第一原子力発電所の事故により、多くの子供たちが戸外での行動の自由が奪われている。このような状況にある子供たちを岡崎市に招待し、太陽の下、自由に遊びまわれる場所を提供する為に選定した。
支援活動内容	8月4日 歓迎レセプション 8月5日 北山湿地にて、いきものみつけ隊 岡崎中央総合公園にて剣道の交流試合 東レ岡崎工場にて夏祭参加 8月6日 あさひこ幼稚園にて岡崎親子交流 愛知県青年の家にてバーベキュー 8月7日 八丁味噌の郷見学
今後の活動予定	平成27年8月上旬の4～5日間 いわき市の親子を岡崎市に招き、地元の親子との交流(バーベキュー・剣道交流試合・幼稚園にて親子交流等)を通して、原発事故や今後の交流について共に考える機会をつくる。
地区RCにはどのような支援を望まれています	地区補助金の支給に関する規定の見直し。震災支援活動費に係わる補助金のクラブ負担を小さくして欲しい。



所属クラブ	豊田西ロータリークラブ
支援活動形態	クラブ対応 ・ 個人対応
支援期間	東日本大震災遺児育英資金「桃・柿育英会」 平成24年～平成32年(9年間を予定) 東日本大震災 被災高校生支援 平成25年4月～平成28年3月 (3年間を予定)
支援総金額	金 毎年 20万 円 「桃・柿育英会」
補助金の使用	(無)
支援場所	・東日本大震災遺児育英資金(桃・柿育英会)を通じて、岩手・宮城・福島の三県の育英金受け入れ基金に支援

へんげんり	・地区を通じて、支援担当の陸前高田RCより、高田高校在学の被災高校生へ支援
支援場所の選定理由	東日本大震災で親を亡くした子どもたちを支援するため、「桃・柿育英会 東日本大震災遺児育英資金」が2011年5月に立ち上げられ、当クラブも9年間を目標として遺児育英支援を決定しました。また、地区の呼びかけにより、被災高校生への支援を決定しました。尚、支援の選定は地区により決定されました。
支援活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 東日本大震災遺児育英資金「桃・柿育英会」に、毎年20万円、9年間での総額180万円を支援予定。 ○ 被災高校生支援として、毎年21万6千円、3年間で、総額64万8千円を支援。
今後の活動予定	<ul style="list-style-type: none"> ○ 東日本大震災遺児育英資金「桃・柿育英会」を平成32年まで継続。 ○ 被災高校生支援は、本人卒業の平成28年3月にて終了予定。

所属クラブ	岡崎城南ロータリークラブ
支援活動形態	クラブ対応 ・ 個人対応
支援期間	平成 26年7月1日～平成27年6月30日
支援総金額	金 300,000 円
補助金の使用	無
支援場所	福島県会津若松市
支援場所の選定	当クラブの姉妹提携クラブ会津若松城南ロータリークラブの所在地
支援活動内容	<p>2010-11年度～2014-2015年度まで、姉妹クラブ会津若松城南ロータリークラブへ、東日本大震災支援義援金としてお渡ししてきました。今年度が最終年と^{たいせつ}今年度は、会津若松城南ロータリークラブの創立30周年にあたり、記念式典にて会津若松市長様に、義援金を当クラブ会長から直接お渡し致します。</p> <p>2010-2011年度 100万円 2011-2012年度 30万円 2012-2013年度 30万円 2013-2014年度 30万円 2014-2015年度 30万円</p>
支援活動においての問題点	用途を姉妹クラブにお任せしているため、支援内容を具体的に把握できない為、結果的に間接的な支援となっている。

所属クラブ	刈谷ロータリークラブ
支援活動形態	クラブ対応
支援期間	平成26年8月1日～平成26年8月31日
支援総金額	金 864,000 円
補助金の使用	有 RC地区補助金 補助金額 金 424,422 円
支援場所	宮城県石巻市渡波町1丁目5-22 石巻市立渡波小学校
支援場所の選定理由	平成23年3月11日東日本大震災において、渡波地区は地震と津波により甚大な被害を受けた。一時は5キロほど離れた稲井小学校のプレハブ校舎に全員がバスで通い、学習を強いられた。平成26年4月からは元の校舎を改修し戻ることが出来たが、津波が校舎の1階部分まで浸水した影響で塩害もあり、花や樹木などがうまく育たない状況である。子供たちが元の校舎に戻るにあたり、心豊かに生活をするためには、花や緑豊かな環境は欠かせない。そこで、プランター・腐葉土・花の球根や種などの購入、樹木の移植をし、花


	<p>いっばいの環境を作り、子供たちの心を豊かにする一助をしたいと思いこの場所にした。昨年度60周年記念事業で支援活動をしたところと同じエリア。</p>
支援活動内容	<ul style="list-style-type: none"> * 石巻市立渡波小学校に対し、プランター2・つつじ9・しらかし2・にしきぎ2・さざんか1・じんちょうげ5・はぎ5・校花はまなす10など主に花の咲く樹木等を寄贈 * 渡波小学校を訪問し、花苗等の植樹を行ない児童の激励と交流を行なった。
支援活動においての問題点	<p>地区のご紹介により、仙台RCの多大なご協力を得て実施をしたので、現地(学校等)関係者との連携もスムーズにいき、問題点はなかったと思います。</p>
今後の活動予定	<p>引き続き情報を収集し、必要なところに、役に立つ支援をしていきたいと思ひます。</p>
地区RCにほどのような支援を望まれています	<p>情報の集約と橋渡し。</p>



所属クラブ	西尾ロータリークラブ
支援活動形態	クラブ対応
支援期間	平成 26 年 8 月
支援総金額	金 49,980 円
補助金の使用	(無)
支援場所	西尾市立福地中学校
支援場所の選定理由	昨年度より東日本大震災後に宮城県名取市閑上中学校との生徒間での交流のため
支援活動内容	昨年度より東日本大震災後の宮城県名取市の閑上中学校と西尾市立福地中学校の生徒代表者が閑上中学校を訪問し、現地生徒との交流を通して、地域の中で期待されていることや被災地の現状を学んだりすることへの支援のため。
支援活動においての問題点	今後何年続くのか不明ではあるが、両校の交流が続く限り支援して参ります。
地区RCにほどのような支援を望まれています	地区補助金による支援をお願いします。





所属クラブ	三河安城ロータリークラブ
支援活動形態	クラブ対応 ・ 個人対応
支援期間	2014年7月1日～2015年6月30日
支援総金額	金 10,000 円
補助金の使用	(無)
支援場所	陸前高田・南三陸・石巻・東松島
支援場所の選定理由	布ぞうり製作の拠点であるから。
支援活動内容	<p>「ふっくら布ぞうりの会」は2011年3月11日の東日本大震災以来、被災地の支援を続けている団体「ふんばろう東日本支援プロジェクト」の活動がきっかけで生まれました。2011年8月、ふんばろう東日本支援プロジェクトが南三陸で実施した布ぞうりの講習会をきっかけに、「手に職・布ぞうりプロジェクト」がスタート。講習会に参加した数名の方々が布ぞうり作りにハマリ、いくつも布ぞうりを作り続けるうちに、数ヶ月で立派な布ぞうり職人に成長しました。</p> <p>現在、ふっくら布ぞうりの会は陸前高田・南三陸・石巻・東松島を拠点とし、各地にそれぞれ編み手のチームがあります。</p> <p>現在、30名の編み手が参加しています。</p> <p>みなさん、仮設や借り上げ住宅に住み、街は再建されず、いまだに不自由な暮らしの中にいますが、布ぞうり作りを通して新しい仲間との出逢いが生まれ、新しい生き甲斐が生まれました。</p> <p>ふっくら布ぞうりはその名のとおりふっくらとしたやさしい履き心地の新しい室内履きです。美しい仕上がりにもこだわり、ひとつひとつ心をこめて作っています。</p> <p>そして、その完成した布ぞうりの販売の支援を行う事と、布ぞうりの材料になる古Tシャツ集</p>
その他資料	<p>布ぞうりの材料となるTシャツ</p> 

所属クラブ	地区東日本大震災プロジェクト委員会
支援活動形態	地区委員会対応
支援期間	平成26年8月27日～平成26年11月17日
支援総金額	金 1,369,738 円
補助金の使用	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 RC地区補助金 ・ RCグローバル補助金 ・ その他(2760地区より100,000円) 補助金額 金 899,680円
支援場所	宮城県南三陸町 志津川中学校 名古屋栄RCと東日本大震災プロジェクト委員会合同の公開例会
支援場所の選定理由	<ul style="list-style-type: none"> 教育環境を整え学びの場を再構築することにより、地域の一員として活躍することが期待される子どもたちを育成することに繋がる。時を刻んだ時計の姿は3年間の学び舎の記憶の一部として残り、また設置場所である校庭は南三陸町仮設住宅からも見え、復興へ向けての新しい時が刻まれていくことを確認することが出来る 公開例会を行うことにより、東日本大震災の記憶を忘れないことと共に各種災害への備えの一助とするため

支援活動内容	<ul style="list-style-type: none">・ 仙台RCと共同し、南三陸町志津川中学校に対し、震災のため故障し動かなくなった校舎の大時計に替るポール式アウトドアクロック(電波ソーラー型) 1基を寄贈・ 名古屋栄RCと東日本大震災プロジェクト委員会合同の公開例会において講師として、気仙沼より被災者家族の招へい・仙台RCより2011～12年度2520地区復興支援特別委員会副委員長の招へい
今後の活動予定	東日本大震災プロジェクト委員会は今年度を持って任務を終える
地区RCにはどのような支援を望まれています	当委員会は任務を終えるが、まだまだ支援は必要なので、どこかの委員会に受け皿を作り、地区として支援事業を展開することが必要と思われる。

